

## 令和2年度王寺町タウンミーティング 10/31 分 質疑応答

### ○義務教育学校の特別支援教育について

義務教育学校での特別支援教育について具体的に伺いたい。また、障害を持つ児童に対応する教員の拡充は考えているのか。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

特別支援学級以外に発達障害等で通級指導を行っている児童について、現在は上牧町のペガサス教室(通級指導教室)へ通っていただいたり、またペガサス教室からの指導を依頼したりしている。義務教育学校開校後については、通級学級を設置できないか検討している。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

教職員の不足については、加配措置を県に要請し、町としても支援員の拡充に向けた取組を継続する。

### ○王寺義務教育学校の通学路について

北の通学路は王寺駅のロータリーを横切る形になるかと思うが、同ルートは JR 王寺駅の乗降客のピーク時が朝の混雑時に重なること、またトンネルを通るルートは現在でも通学時に混雑しており、どのような対応を考えているか。

また、南では、緑ヶ丘からの通学路は獣道のように非常に危険。対応は防犯カメラのみと聞いた。義務教育学校開校後は、現在で言うと小学4年生の児童が先頭として部団登校するのかなと思うと非常に不安。ハード面の安全対策を充実しないとイケないのではないか。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

通学路については様々なルートについて、関係機関への意見聴取や実地を歩いて安全面を検証した結果、現状のルートに決定しており、北については、保護者への説明も行っている。

### ○義務教育学校設置の経緯について

義務教育学校を設置するにあたって、どのような経緯があったのか、教えてほしい。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

今後の人口の変化を考えた時に、子どもが増加するという事は望めない現状において、小学校によっては、現在の1学年2クラス編成から1クラス編成になることが推計される。子どもの社会性を育むことを考慮し、理想的な学年の人数を確保するために、義務教育学校を設置することにより、生徒数、クラス数の確保を図っていく。

#### ▼回答【教育長】

ハード面において、王寺小学校、王寺中学校の老朽化が進み、建替えの必要性を検討しないといけない段階でもあった。また、王寺小学校は片岡王寺遺構の上であり、校舎の建替えには発掘調査も含め10年以上の時間がかかることが予想されるため、義務教育学校の設置を検討したという経緯もある。

#### ○義務教育学校設置後の高校への接続について

義務教育学校卒業後の高校へのコネクトについて、どのように考えているのか。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

高校については、これまでと同様、県立や私立の高校に進学いただくことになる。町内に奈良県立王寺工業高校があり現在も連携しているが、そういったことを続けていくことも大事だと考える。

#### ○幼稚園再編について

デメリットへの対策・対応と、計画がいつごろはじまったのか。

#### ▼回答【教育長】

再編のデメリットとして、通遠距離や園児の環境変化がある。

通遠距離については園バスの運行、環境変化については園児に寄り添った配慮が必要となり、最大限の対応をしていきたい。

この計画については、平成30年度の総合計画策定時に提起され、その後、令和元年度に子ども・子育て支援事業計画によって示された。

#### ○廃校となる小学校の跡地利用について

王寺北小学校跡地については介護施設等への活用をお願いしたい。王寺小学校跡地については、役場新庁舎の設置をお願いしたい。

#### ▼回答【総務部長】

両校跡地ともに現在方針は立っていない。

王寺町の貴重な財産を活用するために、北小学校跡地については現在サウンディング調査を実施している。なお、体育館の避難所機能を維持すること、周囲の住環境に配慮することを条件にしている。現在、民間の事業者からの提案を受け付けており、来年1月には提案のあった事業者と直接対話し、結果を議会に報告、その後、住民の皆様の見解も伺いながら活用を検討していく。

王寺小学校については、発掘調査の結果次第で遺構の保存・活用を含めた方針を立てていきたい。

#### ▼回答【町長】

王寺小学校の跡地について、役場の機能を移すということも選択肢の一つとして考えている。また発掘調査についても、飛鳥時代の片岡王寺の貴重な遺構を確認できるようにしっかりと実施し、文化財の保存・活用を考えていきたい。

#### ○義務教育学校の制服について

義務教育学校の制服について私服案は検討したのか。また性同一性障害の方への対応については今後どのようなものを考えているのか。

#### ▼回答【義務教育学校設置準備室理事】

制服の検討に当たり、保護者アンケートの結果、制服を希望する意見が大多数であったため制服を採用した。

性同一性障害の方への対応については、女子生徒の制服はスカートを基本としているが、ズボンを着用しても全く問題はない。子ども達の個性に合わせた対応として、例えば半ズボンが基本の小学校児童の制服を、気候に応じて長ズボンを着用できるような検討もしている。